

令和	6	年度	事業者番号	0317	事業所番号	031701
----	---	----	-------	------	-------	--------

事業所の地球温暖化対策計画・実施状況報告

1 事業所の概要

(1) 事業所種別

事業所種別	C	平成20年度以降の3か年度(年度の途中から当該事業所の使用が開始された場合にあつては、当該年度を除く3か年度)連続して、年間原油換算エネルギー使用量が1,500kL以上の事業所(他の事業所の一部(区分所有部分、テナント部分等)である事業所は除く)
-------	---	---

(2) 事業所及び事業内容

事業所名	越谷市立病院		
事業所所在地	市区町村	越谷市	
	字・地番	東越谷十丁目32番地	
産業分類名（中分類）	83 医療業		
分類番号（中分類）	83		
事業活動の概要	事業内容	事業内容：【診療科目：内科、外科、小児科など18科目】 【救急科（診療受付時間外）診療科目：内科、小児科、外科、脳神経外科、産科・婦人科】	

2 事業所の温室効果ガス排出量の削減目標

(1) 第3計画期間の削減目標

計画期間		2	年度	～	6	年度
削減目標	エネルギー起源CO ₂ (必須)	基準排出量に対し、削減計画期間の平均削減率を20%以上とする。(必要に応じて排出量取引を活用する)				
	その他ガス					
エネルギー起源CO ₂ の削減目標の概要	排出可能上限量(計画期間合計)	23,404	t-CO ₂			
	削減目標量(計画期間合計)	5,851	t-CO ₂	事業所区分	第1区分ー(1)	

(2) 第4計画期間の削減目標

計画期間		7	年度	～	11	年度
削減目標	エネルギー起源CO ₂ (必須)					
	その他ガス					

3-1 事業所の温室効果ガス排出量

(1) 原油換算エネルギー使用量の推移

原油換算エネルギー 使用量(kL)	計 画 期 間				
	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
	2,365	2,264	2,243	2,279	

(2) 計画期間の温室効果ガス排出量の推移

CO₂換算（t-CO₂）

		計 画 期 間				
		令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
エ ネ ル ギ ー 起 源 CO ₂		4,621	4,422	4,381	4,451	
	前 年 度 比（％）	—	-4.3	-0.9	1.6	
そ の 他 ガ ス	非 エ ネ ル ギ ー 起 源 CO ₂					
	メ タ ン					
	一 酸 化 二 窒 素					
	ハ イ ド ロ フ ル オ ロ カ ー ボ ン					
	パ ー フ ル オ ロ カ ー ボ ン					
	六 ふ っ 化 い お う					
	三 ふ っ 化 窒 素					
温 室 効 果 ガ ス の 合 計		4,621	4,422	4,381	4,451	

(3) 計画期間の温室効果ガス排出量原単位の状況（エネルギー起源CO₂）CO₂換算（t-CO₂/指標）

		計 画 期 間				
		令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
エ ネ ル ギ ー 起 源 CO ₂ 排 出 量 原 単 位		0.1425	0.1364	0.1351	0.1372	
	前 年 度 比（％）	—	-4.3	-0.9	1.6	
活 動 規 模 の 指 標	単 位	32,430.25	32,430.25	32,430.25	32,430.25	
床面積	m ²					

（４）エネルギー起源CO₂排出量の増減に影響を及ぼす要因の分析

令和2年度 (2020年度)	建物の床面積の増減	無	建物の用途変更	無	設備の増減	無
	新型コロナウイルス感染予防対策の為、空調機運転時間の増加に伴い、加湿量、冷暖房の増加により炉筒煙管ボイラー、冷温水発生機のガス使用量の増加。 災害時の発電機の連続運転時間を延長する為、重油の保有備蓄量を増加させた。					
令和3年度 (2021年度)	建物の床面積の増減	無	建物の用途変更	無	設備の増減	無
	冷温水発生機の機器更新により、ガス使用量が約10%削減された。					
令和4年度 (2022年度)	建物の床面積の増減	無	建物の用途変更	無	設備の増減	無
	冷温水発生機設定温度の固定運用を利用者の快適性確保を留意しつつ負荷に応じて冷水設定温度を8℃から10℃、温水温度を40℃から45℃の設定で運用することでガス使用量が減少。					
令和5年度 (2023年度)	建物の床面積の増減	無	建物の用途変更	無	設備の増減	無
	空調加湿蒸気配管にバルブを設けて空調加湿蒸気を使用しない期間はバルブを閉めて対策することで無駄な放熱を防いでガス使用量減少でCO ₂ は4.6t減少。外来照明30灯LEDに更新して電気使用量減少で0.03t減少。夏の猛暑7月から9月、3月の寒さで、昨年度より冷温水発生機ガス使用量が35771m ³ 増加。それにより昨年度と比較してCO ₂ が70t増加。					
令和6年度 (2024年度)	建物の床面積の増減		建物の用途変更		設備の増減	

3-2 温室効果ガス削減目標に係る状況

(1) 基準排出量

基準排出量	5,851	t-CO ₂ /年
基準排出量の検証	実施済	

(2) 基準排出量の変更

	変更年度	変更量（t-CO ₂ /年）
1		
2		
3		
4		
5		

(3) 目標削減率

目標削減率の区分	第1区分-（1）
----------	----------

(4) 削減計画期間

2	年度から	6	年度まで
---	------	---	------

(5) 年度ごとの状況

(排出量等の単位：t-CO₂)

		令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	削減期間 合計
基準 排出 量 等	基準排出量(A)	5,851	5,851	5,851	5,851	5,851	29,255
	目標削減率の 緩和措置	医療施設	医療施設	医療施設	医療施設	医療施設	
	トップレベル認定						
	目標削減率(B)	20.00%	20.00%	20.00%	20.00%	20.00%	
	排出上限量 ($C = \sum A-D$)						23,404
	排出削減目標量 ($D = \sum (A \times B)$)						5,851
実 績	エネルギー起源 CO ₂ 排出量(E)	4,621	4,422	4,381	4,451		17,875
	削減率 ($F = (A - E) / A$)	21.02%	24.42%	25.12%	23.93%		—
	排出削減量 ($G = A - E$)	1,230	1,429	1,470	1,400		5,529
各年度の排出量の検証		実施済	実施済	実施済			

4 温室効果ガスの排出の抑制等に関する措置の計画及び実施状況

No	対 策 の 区 分			対 策 概 要	実施 予定 年度	実施 した 年度	推計 削減量(t) (1年度 当たり)
	区 番	分 号	区 分 名 称				
			大 区 分				
1	120200	熱源設備・熱搬送設備	12.冷凍機の効率管理	冷温水発生機(500RST)2台交換	R2	R2	200.0
2	130200	空気調和設備・換気設備	13.空気調和設備の効率管理	空調設備18組更新	R2	R2	50.0
3	120700	熱源設備・熱搬送設備	12.蒸気漏えい及び保温の管理	ボイラー室系統蒸気配管保温材	R2	R2	50.0
4	150200	受変電設備、照明設備、電気設備	15.照明設備の運用管理	外来照明LED改修	R3	R3	5.0
5	130200	空気調和設備・換気設備	13.空気調和設備の効率管理	空調設備40組更新	R3	R3	5.0
6	130200	空気調和設備・換気設備	13.空気調和設備の効率管理	冷温水発生機設定温度の固定運用を負荷に応じて設定温度を変更	R4	R4	5.0
7	150200	受変電設備、照明設備、電気設備	15.照明設備の運用管理	外来照明30灯LED更新	R5	R5	0.0
8	120700	熱源設備・熱搬送設備	12.蒸気漏えい及び保温の管理	空調加湿蒸気放熱損失対策	R5	R5	4.6
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							

5 事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価

(※希望者のみ記載)

自由記述欄

--